

令和5年度開設予定学部等一覧

1 学部を設置するもの 3校

令和4年10月

区分	大学等名	学部・学科等名	入定員(人)	位置	設置者	附帯事項	備考	
私立	大阪成蹊大学	看護学部 看護学科 データサイエンス学部 データサイエンス学科	80 80	大阪府大阪市	学校法人 大阪成蹊学園	<p>・「審査意見への対応を記載した書類（6月）」の審査意見1への対応において、ディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーを修正した上で、それらの各項目の対応関係について説明がなされたが、カリキュラム・ポリシーの記載が簡潔な内容となっていることから、例えば、ディプロマ・ポリシーの「人間を全人的に理解し…看護職を目指す者として使命感を持ち役割を果たすことができる」に対応すると説明されたカリキュラム・ポリシーについて、「使命感」を身に付けるための教育課程の編成等の方針が示されているか判断できずディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシーの関係性や整合性が必ずしも明確であるとは言い難い。このため、ディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーを学生や入学希望者等に示す際には、両ポリシーの関係がより明確になるよう、具体的に説明するとともに、必要に応じて適切に改めること。（看護学部看護学科）</p> <p>・修正されたカリキュラム・ポリシーについて、「本学部のアカデミックスキル」を「『読む、考える、書く、聴く、発言する』能力」と記載を改めているが、大学において涵養（かんよう）する資質・能力の目標としては説明が不足していると見受けられるため、ディプロマ・ポリシーとの整合性に留意しつつ、「変化する社会のニーズに対応するために必要な『読む、考える、書く、聴く、発言する』能力」を具体的な記載とするなど、大学において涵養（かんよう）する能力としてふさわしい適切な記載であることが明確となるように改めること。（看護学部看護学科）</p> <p>・「審査意見への対応を記載した書類（6月）」の審査意見3への対応において、「設置の趣旨等を記載した書類」に成績評価に関する説明が追記されたが、カリキュラム・ポリシーに学修成果の評価の在り方等に関する具体的な記述が見受けられないことから、適切に改めること。（看護学部看護学科）</p> <p>・「審査意見への対応を記載した書類（6月）」の審査意見4への対応において、資格の取得を目指す場合の取得単位数の妥当性について説明がなされたが、複数の資格を取得する場合のモデルカリキュラムは、単年次で非常に多くの単位取得を要するよう見受けられるため、必要な取得単位数が特定の年次に偏らないよう、配慮することが望ましい。（看護学部看護学科）</p>	<p>遵守事項</p> <p>遵守事項</p> <p>遵守事項</p> <p>助言事項</p>	

区分	大学等名	学部・学科等名	入学 定員 (人)	位置	設置者	附帯事項	備考	
1	(大阪成蹊大学)					<ul style="list-style-type: none"> ・開設年度前年度以降に借入を予定しているため、負債について計画どおり償還し、負債の減少に努めること。 ・既設校の今後の定員充足の在り方について不断に検討を行い、定員未充足の改善に取り組むこと。(大阪成蹊大学国際観光学部国際観光学科、大阪成蹊短期大学観光学科) ・学生等の募集を停止中の組織については、適切な時期に廃止等の措置を講ずること。(大阪成蹊大学経営学部国際観光ビジネス学科) ・開設後に予定している借入について、計画のとおり新設学部で使用する校地及び校舎に抵当権等を設定しないこと。 	助言事項 遵守事項 遵守事項 遵守事項	
私立	日本文理大学	保健医療学部 保健医療学科 診療放射線学コース 臨床検査学コース 臨床医工学コース	80 50 30	大分県大分市	学校法人 文理学園	<ul style="list-style-type: none"> ・「審査意見への対応を記載した書類(6月)」の審査意見2への対応において、ディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーが修正されたが、保健医療学科という1つの学科に、診療放射線学コース、臨床検査学コース、臨床医工学コースという異なる知識や能力を身に付けるための3つのコースを設置することの目的や趣旨がより明確になるよう、本学科の学生に対し共通に修得させる知識や能力等と、それらを身に付けるための授業科目等の配置・構成や、本学科に3つのコースを設置する趣旨、各コースの養成する人材像及び修得させる知識や能力等との関連性について、志願者や学生等に対し各種広報や説明会等の場であらかじめ明確に説明すること。 	遵守事項	

区分	大学等名	学部・学科等名	入学定員(人)	位置	設置者	附帯事項	備考	
2	(日本文理大学)					<ul style="list-style-type: none"> ・「審査意見への対応を記載した書類(6月)」の審査意見6への対応において、アドミッション・ポリシー【知識・技能】①を、「特に数学、理科、国語、英語のいずれか、あるいは複数の教科・科目において、高い学習意欲をもち、基礎的知識を応用する力を有する人」から「大学での修学に必要な基礎事項を理解したうえで、特に数学または国語において、学習意欲と基礎学力を有する人」に変更された。あわせて、本変更の意図として「大学での修学に必要な基礎事項を理解していることと、専門能力を育成する上で、特に必要となると考える「数学」または「国語」における学習意欲と基礎学力を求める」と説明されたが、コース共通の専門科目を見ると、「解剖学」や「生理学」、「生化学」等といった化学や生物学と関連する科目が多く見られ、教養教育科目においても力学や生物、化学に関するリテラシー科目を複数開講しているなど、本学部において必要となる基礎学力は、化学、生物、物理といった理系科目も想定されると見受けられることから、必要に応じてアドミッション・ポリシーに掲げる必要な教科に「理科」を加えるか、「理科」をアドミッション・ポリシーに掲げないことを含めて入学志願者に求める基礎的知識の考え方を明確に周知すること。 ・専任教員資格審査の結果により、教員の補充が必要とされた授業科目については、確実に教員を充足させること。 ・完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について着実に実施すること。 ・工学部建築学科の入学定員超過の是正に努めること。 ・完成年度における法人全体の基本金組入前当年度収支差額がマイナスとなっていることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財務計画の策定・実行に取り組むこと。 ・既設校の今後の定員充足の在り方について不断に検討を行い、定員未充足の改善に取り組むこと。(日本文理大学工学部航空宇宙工学科) 	<ul style="list-style-type: none"> 遵守事項 遵守事項 遵守事項 遵守事項 助言事項 遵守事項 	

区分	大学等名	学部・学科等名	入学定員 (人)	位置	設置者	附帯事項	備考	
私立	尚綱大学	こども教育学部 こども教育学科 (3年次編入学定員)	70 5	熊本県菊池郡菊陽町	学校法人 尚綱学園	<p>・補正申請書において新たに必修科目として設定した「療育論」について、「審査意見への対応を記載した書類（6月）」では「発達障害児の幼児教育、保育について扱う『療育論』」と説明されており、シラバスにおいても発達障害を中心に扱う限定的な授業内容となっているが、一般的にはその名称からは保育現場等における支援のニーズのある子供に関するより幅広い学びが想起される。このことから、学生が履修に当たって授業内容を適切に理解できるよう、授業内容に応じた適切な授業名称に改めること。なお、当該授業科目の名称や到達目標等に鑑み、発達障害以外の支援のニーズを有する子供に関する理解や知識習得を促す観点から授業内容やシラバスの充実を図り、「療育論」の名称に応じた授業内容に改めることも望ましい。</p> <p>・会議の運営に関し、以下の事項について適切に行うこと。【・理事会及び評議員会の開催順序（・令和2年度決算・令和2年度監事の監査報告・令和3年度決算・令和3年度監事の監査報告）】</p> <p>・監事監査において教学監査を実施していないことから、今後の監査に関する計画（監査項目及び実施体制等）を改めること。</p> <p>・法人全体の基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態が続いていることから、収支均衡を前提とした中長期的な財務計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保に取り組むこと。</p> <p>・完成年度における法人全体の基本金組入前当年度収支差額がマイナスとなっていることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財務計画の策定・実行に取り組むこと。</p> <p>・既設校の今後の定員充足の在り方について不断に検討を行い、定員未充足の改善に取り組むこと。（尚綱大学現代文化学部文化コミュニケーション学科）</p>	<p>遵守事項</p> <p>遵守事項</p> <p>遵守事項</p> <p>助言事項</p> <p>助言事項</p> <p>遵守事項</p>	<p>短期大学部 幼児教育学科〔定員減〕</p> <p>(△50)</p>
3								
計	3校	4学部 4学科						

(注) 「備考」欄の()書の数字は、今回の認可申請に伴う関係のある既設学部等の入学定員の減を示す。